

段ボール等を使用した立体造形商品の開発・製造

有限会社 アキワークス

大分県
国東市安岐町下原2406-1

1998年(平成10年)設立
TEL 0978-66-7336

<http://www.wtv.co.jp>



代表取締役
松岡 勇樹

素材に段ボールを使用し、地球環境に配慮したコンセプトと高度なデザイン性により、ディスプレイ市場を始め、新たな商品群を展開。

建築設計からモノづくりに転身

大学の建築学科修士課程修了後、建築設計をしていた松岡氏は、服飾デザイナーからの相談を受け、身近にあった段ボールでマネキンを作ったところアパレル関係者から絶賛され、自ら事業化。これをきっかけに東京でモノづくりの世界に転身。その後、製造を自社で行うため、大分県国東市安岐町に帰郷。

独自開発した立体造形システム “D-Torso System”

アキワークスが独自に開発した三次元造形システム(DTS)は、立体情報をスライスデータに分割・再構築して3軸(x,y,z)で組み立てる手法。立体を形作る際に金型を必要としないことや、レーザー加工を用いて様々な素材を本体材料として使用できること、複雑な形態デザイン、立体造形物の拡大・縮小など、自由度の高い造形ができることが特徴。

世界が認める芸術性・デザイン性

現代アートの要素を兼ね備えた組み立て式マネキンd-torso(ディートルソ)は、段ボールの板材からレーザーによって切断加工された部品で構成される立体造形物で、ディスプレイ用人台として開発された立体造形であり、2001グッドデザイン賞を受賞。

また、デザイン性を重視したディスプレイ、ミニチュア動物フィギア、ギフト用パッケージ、インテリア等で高い評価を受け、国内のみならず海外でも、美術館のミュージアムショップ、セレクトショップとの取引があり、芸術性を備えた商品として高い評価を受けている。

18年度・中小企業新事業活動促進法に基づく「新連携計画」認定。

